

限りある故郷の水を大切に！

発行／那覇市水道局総務課
所在地／那覇市寄宮2丁目32番1号
TEL／098-832-4171

なは みずどろ

1999年1月発行 第6号



浜比嘉大橋

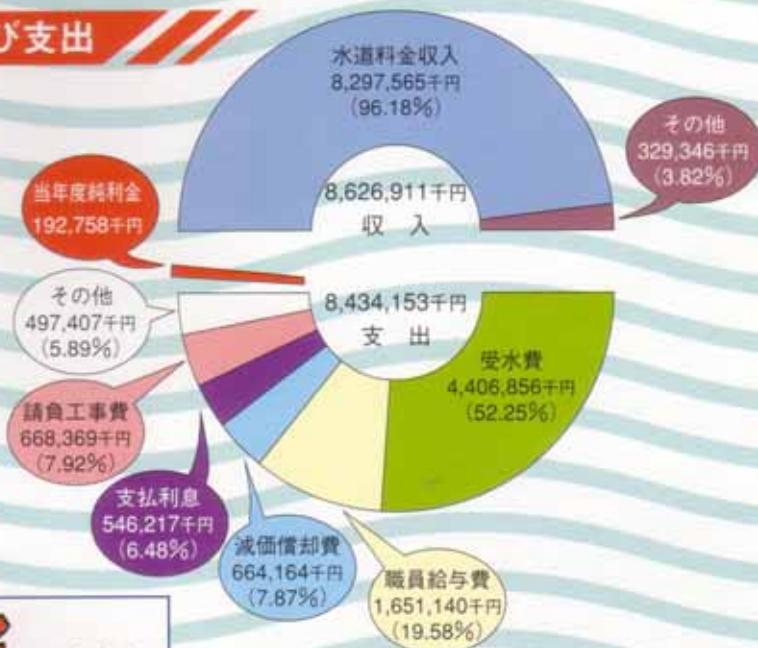
- 平成9年度 水道事業会計決算・・・・・・・・・・ 2
- 水道モニター 委嘱式・・・・・・・・・・ 3
- 水道モニター 施設見学・・・・・・・・・・ 4・5
- 水道局の仕事シリーズ・・・・・・・・・・ 6・7
(漏水の防止の巻)
- 水道週間・・・・・・・・・・ 8



平成11年1月10日現在貯水状況(率)
給水人口(平成10年11月末現在)
(水道の普及人口) 299,365人

平成9年度那覇市水道事業会計決算

収益的収入及び支出



水の安定供給をめざして

平成9年度は、適宜の降雨があり順調に水を確保し、断水や制限給水等もなく安定した給水を行うことができました。

また、今年度決算で累積欠損金（一億二千六百十二万九千九百九十九円）を解消することが出来ました。当年度未

処分利益（六千六百六十二万九千九百九十九円）は、すべて減債積立金（企業債償還に充てるためのお金）に充てました。

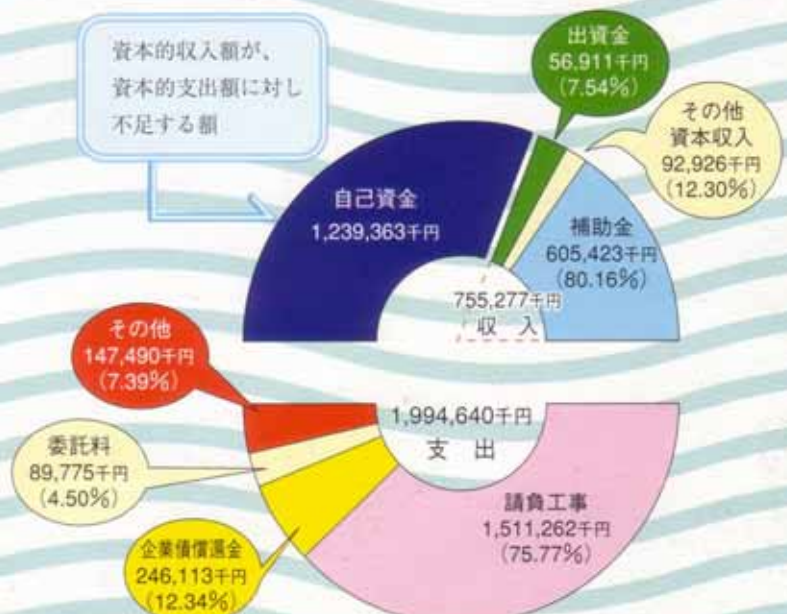
これからも市民のご協力とご理解のもと、水道事業を進めていきたいと思っております。



水道事業は皆様からいただく水道料金で運営されています。



資本的収入及び支出



資本的収入額が、資本的支出額に対し不足する額

水道モニター制度発足!

那覇市水道局では、水道使用者の意見・要望等を把握し水道行政に反映させるという目的のもとに、平成10年度より“水道モニター制度”を発足し、去った6月1日にその水道モニターの委嘱式を行いました。

水道モニターは那覇市に在住する20歳以上の水道に興味のある方を条件に、新聞の情報紙・那覇市広報紙等で募集したところ、37名の応募者の中から那覇市を4地区(旧那覇・真和志・首里・小禄)に分け各地区の代表として抽選で15名の方を採用しました。(任期は平成10年6月1日から平成11年5月31日まで。)

主な活動内容は水道施設見学・勉強会・意見交換・アンケートへの回答等々いろいろお願いする予定です。

モニターの皆さんには水道局に対して水を使う立場からいろいろな意見・要望等を出していただくとともに、市民と水道局とのパイプ役として活躍していただきます。

水道モニター紹介

第1期 水道モニターとして、下記の皆様を採用いたしましたのでご紹介します。

(旧那覇地区)

(真和志地区)

(首里地区)

(小禄地区)

上間 まち子
具志 初枝
高野 容子
屋宜 陽子

大嶺 孝代
我喜屋 恵子
下地 喜代子
大見謝 与美子
増田 裕子

末吉 ヒサ子
新里 ス工
知念 圭子

具志 玲子
大島 久美子
上野 栄子

(敬称略)



1年間宜しく
お願いします。

委嘱式の当日は式の後、水に関するビデオ鑑賞、昼食をとりながらの懇親会を行いました

懇親会ではモニターひとりひとりが自己紹介した後、モニターや職員が自由に発言しました。やはり水道に関心のある方々が集まっただけあって、水道に関する疑問・質問・提案等が活発に出され、モニターとして集まった最初の場としては大変有意義なものになりました。



委 嘱 式

モニターさんの初心表明

- 1年間のモニター期間を通していろいろ勉強していきたくと思います。宜しくお願いします。
- 市民の願いは安心して低料金で届く水だと思えます。その為に職員の方とモニターがアイデアを出し合って那覇の水道が一番だといってもらえるよう一緒に努力していきましょう。
- これからモニターとして今まで気づかなかったことが沢山あることと思えます。モニターをやって良かったと思える貴重な1年でありたいと思っています。



委嘱式後の懇親会

北谷浄水場



1日あたり約24万1千m³の浄水能力を持つ、水道用水では県下最大規模の浄水場で、県内で唯一の高度浄水処理を行っている施設です。



海水淡水化施設

1日あたり4万m³の淡水をつくる国内最大の海水淡水化施設です。

この水道施設見学は、水道モニターの皆さんに水道施設を見学してもらい、各家庭に水道が届くまでの過程を勉強してもらおうと開催しました。

当日は、良い天気です暑い日でしたが、皆さん各施設で熱心に説明に聞き入ったり、また、質問したりして楽しみながらとても充実した一日になったようです。

ちなみに水道局では、毎年6月初旬に同じ行程で市民（小学生の親子）を対象に水道施設見学を行っていますので、ぜひ、ご参加下さい。（応募は4月ごろ那覇市広報紙等でお知らせします。）



海水を真水にする過程について説明を受けました。



水道モニター施設

平成10年7月



倉敷ダム

沖縄市と石川市にまたがる多目的ダム（総貯水量...）



ダムには水道用水確保のほか、洪水調節...



ズバリ、水道料金だけで運営されています。市の税金は使われていません。このことについては、さらにPRにつとめ市民のご理解を頂きたいと思っております。（但し、水道工事の一部には、国の補助金が使われています。）

Q4 水道事業はどの経費で運営されていると思えますか？
(複数回答)



ほとんどのご家庭に使用されているようです。

水道局の仕事

管理課漏水防止係編

水道局管理課漏水防止係の仕事は大きく分けて2つあります。

1. 報告・連絡による漏水調査・・・市民の皆さんのご家庭の水漏れを調査します。



検針員からの漏水報告

各家庭からの調査依頼

水道番号は何番ですか？お所はどちらですか？



受付



現場での漏水調査

パッキンなど簡単な修理はその場で行います。
大きな修理が必要な場合、水道修理業者を紹介します。



2. 定期計画的な調査・・・計画的に那覇市全域の漏水をさがします。



現場の下見調査



路面音聴調査

音聴棒調査
漏水があると小石が跳ねるような音が聞こえる

漏水かな？

発見したらすぐ修理

調査結果整理

夜間調査



市民の皆さんが寝静まった真夜中にヘッドホンのついた機械や耳あてのついた鉄の棒で何やら怪しい事をしてる人たちを見たことがあるでしょうか？
この人たちはなにをかくそう水道管の水漏れを調査している漏水調査の達人たちなのです。
なぜこんな真夜中に調査を行うかというと、昼間は騒音や家庭で使用する水道水、交通等の往來の音で漏水音が聞き取りにくくなるためなのです。
彼らは、真夜中に市民の皆さんが使用する水道水の安定供給を支えている縁の下の力持ちたちなのです。

『第40回水道週間』



平成十年度「水道週間」が去った六月一日から七日まで「水道で今日も安心水ある暮らし」をテーマに行なわれ、局庁舎で水道なんでも相談・水道パネル展を開催した。

最終日の七日には、親子五十組百余名の参加で「親子水道施設見学」を行い、安里配水池・北谷浄水場（海水淡水化施

設）・倉敷ダム・那覇市集中監視センターのコースを回った。参加した子供たちは、海水から飲み水が造られることにビックリしたり、楽しみながら水の大切さを学んだものと思います。

★この施設見学に参加した、小学生の作文を紹介します。

親子水道施設見学を終えて

高良小学校 四年五組

具志みゆき

私は、六月七日にお母さんと二人で水道施設見学に参加しました。バス二台でたくさんのお母さんが参加しました。見学した場所は、安里配水池、北谷浄水場、倉敷ダム、集中監視センターの順です。

一番びっくりしたことは、海水が真水になることです。

平成九年四月からは、一日に四万m³の水を造ることができるようです。

うまれて初めて海水から真水になった水を飲みました。とってもおいしかったです。

おみやげに、ボトル二本もらいました。ひやして飲んだら、家族もおいしいといっていました。

最後に、日本の水道は世界一安全だそうです。安心しました。

わかりやすい資料を作ってくれた水道局のみなさんありがとうございました。